

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成30年12月6日(2018.12.6)

【公表番号】特表2016-540798(P2016-540798A)

【公表日】平成28年12月28日(2016.12.28)

【年通号数】公開・登録公報2016-070

【出願番号】特願2016-540038(P2016-540038)

【国際特許分類】

A 6 1 K	9/24	(2006.01)
A 6 1 K	45/06	(2006.01)
A 6 1 P	25/04	(2006.01)
A 6 1 P	29/00	(2006.01)
A 6 1 P	43/00	(2006.01)
A 6 1 K	9/28	(2006.01)
A 6 1 K	47/34	(2017.01)
A 6 1 K	47/32	(2006.01)
A 6 1 K	31/135	(2006.01)
A 6 1 K	31/136	(2006.01)

【F I】

A 6 1 K	9/24	
A 6 1 K	45/06	
A 6 1 P	25/04	
A 6 1 P	29/00	
A 6 1 P	43/00	1 2 1
A 6 1 K	9/28	
A 6 1 K	47/34	
A 6 1 K	47/32	
A 6 1 K	31/135	
A 6 1 K	31/136	

【誤訳訂正書】

【提出日】平成30年10月26日(2018.10.26)

【誤訳訂正1】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0091

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0091】

好ましい実施形態において、第1の薬理活性成分(A₁)はオピオイドであり、第2の薬理活性成分(A₂)は別の鎮痛薬であるが、好ましくはオピオイドではなく、例えばNSAIDまたはCOX-2-インヒビターである。

【誤訳訂正2】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0093

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0093】

なお別の好ましい実施形態において、第1の薬理活性成分(A₁)は鎮痛薬であるが、好ましくはオピオイドではなく、例えばNSAIDまたはCOX-2-インヒビターである。

り、第2の薬理活性成分(A_2)はオピオイドである。

【誤訳訂正3】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0095

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0095】

この実施形態によると、好ましくは、第1の薬理活性成分(A_1)はオピオイドであり、更なる薬理活性成分(A_f)は別の鎮痛薬であるが、好ましくはオピオイドではなく、例えばNSAIDまたはCOX-2-インヒビターである。

【誤訳訂正4】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0097

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0097】

なお更に、この実施形態によると、好ましくは、第1の薬理活性成分(A_1)は鎮痛薬であるが、好ましくはオピオイドではなく、例えばNSAIDまたはCOX-2-インヒビターであり、更なる薬理活性成分(A_f)はオピオイドである。

【誤訳訂正5】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0099

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0099】

この実施形態によると、第2の薬理活性成分(A_2)はオピオイドであり、更なる薬理活性成分(A_f)は別の鎮痛薬であるが、好ましくはオピオイドではなく、例えばNSAIDまたはCOX-2-インヒビターである。

【誤訳訂正6】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0101

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0101】

なお更に、この実施形態によると、好ましくは、第2の薬理活性成分(A_2)は鎮痛薬であるが、好ましくはオピオイドではなく、例えばNSAIDまたはCOX-2-インヒビターであり、更なる薬理活性成分(A_f)はオピオイドである。